

2024/06/08

## いよいよ「国民発議議員連盟」が発足します

INIT 国民発議プロジェクト

共同代表 水上貴央・元山仁士郎

### 私たちの声を直接政治に届ける仕組み

私たち主権者が、国会の議題を自分たちで決める。これが「国民発議」です。原発を今後も使い続けるべきか、選択的夫婦別姓は認めるべきか、消費税はどうすべきか、日本の安全保障のあり方をどうするか……私たちが抱える数多くの社会課題を国会のオープンな場で、党派を超えて正面から議論する。密室で決めるのをやめる。これが民主主義の基本です。選挙で民意を反映させることはとても重要なことですが、選挙は万能ではありません。私たちの声を直接政治に届ける仕組みが必要です。

### 政治と金のルールも国民発議で

特に、現在問題となっている政治資金と裏金の問題などは、国会議員に制度構築を任せてしまっただけではいけない問題です。政治活動に税制上どの程度の優遇を与えるべきか、政治資金の透明化はどの程度徹底すべきかという議論を、制限される側の議員がすること自体に無理があるのです。新たな政治資金の透明化ルールは、国民自身が提案すべきです。抜本的な政治改革が必要な今こそ、国民発議の制度が求められているのです。

### いよいよ「国民発議議連」が発足

さて、私たち INIT の要望に応える形で、国民発議について立法（制度）化を目指す議員連盟が衆参の国会議員によって発足しようとしています。

これまでの INIT 活動に対して、皆さまが賛同し支援して下さったことが議員への強い働きかけとなり議連発足を促す力となりました。賛同者の皆さまに心からお礼を申し上げます。

### 議連に加わる議員はさまざま

この議連には、党派を超えて、与党からも、野党からも、さまざまな議員が参加されます。重要な政治課題に対する意見やスタンスも一様ではありません。

せん。個別の政治テーマに関しては、私たち自身と意見が対立している議員の方もいらっしゃる。そもそも、INITのメンバー、賛同者同士でも個別の政治テーマに対する意見はさまざまです。

### 立法（制度化）を実現するということ

議連にも INIT の賛同者の皆さんにも、多様な政治的意見を持つ方が存在します。それは、ある意味で当然のことです。

超党派で、さまざまな立場の議員や市民の皆さんと国民発議の実現による国民主権の強化と民主主義の再活性化を目指そうとすれば、自分とは政治的意見の異なる人とも、一緒になって議論を前に進める必要があるからです。幅広い支持を得て立法（制度化）を実現するという事は、[好き／嫌い]を超えて多くの立場の人が関わるということです。

### [好き／嫌い]を超えて大きなうねりを

INITの賛同者お一人おひとりが、ある政党やある議員を支持したり、逆に嫌ったりすることは、完全に自由です。国民発議の実現を支持していただき、共に議論していただく皆さんが、同じ議員を好きになったり同じ政党を支持したりする必要は全くありません。むしろ、そのようなことは望んでいません。多様な立場の人たちがオープンに議論することこそが、民主主義らしいと考えるからです。

好きな人は好き、嫌いな人は嫌い、それでよいのです。ただ、INITは、私たち国民の、主権者としての発言力を増すために、[好き／嫌い]を超えて、国民発議制度実現への大きなうねりを作りたいのです。

衆参国会議員の有志のみなさんに議連を設立していただくことにより、国民発議制度の立法化に向けた次のステージに進むことができます。

これまで INIT の活動を支えて下さった皆さんとともに、本当に立法化を実現するために、むしろ意見が対立する立場の人までも積極的に巻き込んで、真に国民的な議論を盛り上げていくために、是非とも更にお力をお貸しください。

この国の民主主義は、私たち自身が、声を上げ、国会の議題を提案できる「国民発議」制度の導入によって、もう一歩前に進むことができると信じています。